

大阪府立藤井寺高等学校学校運営協議会 議事録

校名	府立 藤井寺高等学校
校長名	水元 誠致

開催日時	令和 7年 2月19日 (水) 14:00 ~ 16:00
開催場所	本校3F会議室
出席者(委員)	坂井会長 藤井委員 若林委員 阪倉委員
出席者(学校)	水元校長 川本教頭 他 10名
傍聴者	なし
協議資料	令和6年度 大阪府立藤井寺高等学校 第3回学校運営協議会 実施要項 資料 1 令和6年度 学校経営計画及び学校評価 資料 2 令和7年度 学校経営計画及び学校評価 資料 3 進路指導部 総括 資料 4 総務部 総括 資料 5 生徒指導部 状況報告 資料 6 保健部 総括 資料 7 広報活動について 資料 8 総合的探究の時間 報告 資料 9 第3学年 状況報告 資料10 第2学年 状況報告 資料11 第1学年 状況報告 資料12 学校教育自己診断アンケート結果
備考	

議題等(次第順)		
1	令和6年度 学校経営計画及び学校評価	資料1 (校長)
	令和7年度 学校経営計画及び学校評価	資料2 (校長)
2	令和6年度 進路指導部 総括について	資料3 (坂本 進路部長)
3	令和6年度 総務部 総括について	資料4 (平松 総務部長)
4	令和6年度 生徒指導部 状況報告について	資料5 (中尾 生徒指導部長)
5	令和6年度 保健部 総括について	資料6 (堀内 保健部長)
6	令和6年度 広報活動について	資料7 (吉岡 首席)
7	令和6年度総合的な探究の時間について	資料8 (江口 総合企画委員長)
8	各学年 現状報告について	資料9~11 (各学年主任)
9	学校教育自己診断アンケート結果について	資料12 (中尾 首席)

協議内容・承認事項等 (意見の概要)	
1 校長より (学校評価) ○ほとんどの項目で目標を達成。 ○目標未達成項目 ①新入生部活動加入率。 目標値を1.7%下回っている。家庭の経済状況も要因の一つと考えられる。 ②少人数の授業や関心のある選択授業がある。 教員数・カリキュラム編成の観点から、生徒の希望する科目をすべて設定することは難しい。 (令和7年度学校経営計画) ○令和6年度をベースに策定しているため、大きな変更はなし。	資料1、2

<p>2 令和6年度 進路指導部 総括について</p> <p>49期生：大学進学者は60%を超える。総合型選抜を利用した生徒は40名。大学入学共通テスト7名受験。新教育課程初年度だったことを踏まえ、各進学先の情報収集、学年との共有に努めた。</p> <p>50期生・51期生；進路意識と基礎学力の向上を目指している。 (GTEC)</p> <p>50期生：1年次よりGTECのスコアが大幅に上昇した。</p> <p>51期生：GTECで高いスコアを記録している。</p>	<p>資料3 (坂本 進路部長)</p>
<p>3 令和6年度 総務部 総括について</p> <p>○書籍購入費については、同窓会からの支援を受けた。</p> <p>○同窓会は49期生から、PTAは52期生から、加入の意思確認を行う。 49期生：同窓会の加入意思確認は1月末に実施した。 52期生；PTAの加入意思確認は入学式後に実施する予定。</p>	<p>資料4 (平松 総務部長)</p>
<p>4 令和6年度 生徒指導部 状況報告について (生活指導関係)</p> <p>○遅刻件数は2月14日時点で3600件を上回っている。 心身の不調から遅刻を繰り返す生徒が増加しているため、早朝登校指導を状況に応じて見直す必要がある。 (生徒会関係)</p> <p>○部活動入部率は昨年度より若干減少。1年生入部率は昨年と比較して増加している。 運動系クラブの入部率が10%減少し、文科系クラブの入部率が10%増加している。</p>	<p>資料5 (中尾 生徒指導部長)</p>
<p>5 令和6年度 保健部 総括について</p> <p>○保健室への生徒来室数は増加。</p> <p>○悩みを抱えている生徒に対しては、スクールカウンセラーにつなげている。 カウンセリングを受けた生徒、保護者は延べ75名。</p>	<p>資料6 (堀内 保健部長)</p>
<p>6 令和6年度 広報活動について</p> <p>○広報行事の参加者は昨年の1.2倍</p> <p>○外部での説明会への出席をきっかけに、校内の説明会に参加した中学生もいた。</p> <p>○校内での説明会の参加人数は昨年と比較すると増加している。 生徒を中心とした運営が中学生に評価されていると考えられる。</p> <p>○進路希望調査において、第2回よりも第3回では希望者が増加した。</p> <p>○SNSを活用することで、より効果的な広報活動が可能になると考えている。</p>	<p>資料7 (吉岡 首席)</p>
<p>7 令和6年度総合的な探究の時間について</p> <p>○総合的な探究の時間を通し、プレゼンテーションに対する苦手意識が薄まっており、その結果、受験利用につながっている。</p> <p>○2年時で実施している「修学旅行とSDGs」はテーマ設定が難しいため、来年度から3年生で行う「自分ができるSDGsの活動」を繰り上げて実施できないかを検討している。</p>	<p>資料8 (江口 総合企画委員長)</p>
<p>8 各学年 現状報告について</p> <p>51期生：英検3級に7名合格、準2級の1次試験に4名合格している（今後、2次試験を受験予定）。GTECを含め、結果が残せるように指導をしていきたい。</p> <p>50期生：志望理由書や小論文の書き方についての講座等を早い時期から実施し、受験対策を進めている。</p> <p>49期生：令和6年中に進学を決めたい生徒が多く、1クラス10人～20人の生徒が同時期に志望理由書や面接指導が必要になり、対応に苦慮した。</p>	<p>資料9～11 (各学年主任)</p>
<p>9 学校教育自己診断アンケート結果について (肯定度経年比較)</p> <p>令和6年度もほとんどが80%を超えている。令和5年度と比べて微増。 (特に数値が増えている項目)</p> <p>「集会での話が分かりやすい」(4.2%増)、「部活動が盛んである」(5.6%増)、「学校の施設設備には満足している」(生徒7.5%増 保護者5%増)、「担任以外にも相談できる先生がいる」(生徒2.7%増 保護者6.3%増)、「生徒会活動が活発である」(5%増)</p>	<p>資料12 (中尾 首席)</p>
<p>各委員のご意見</p> <p>○挨拶をする生徒が多く、雰囲気の良いさに繋がっている</p> <p>○「生徒の卒業時の姿」を教職員間で共有するために現在検討中であり、これは学校経営計画の「目指す学校像」とリンクすることになる。 また、実現するためにどのような授業を行っていくのかを考えていく必要がある。</p> <p>○普通科高校はカリキュラム上で特色を出すことは難しいが、探究活動で特色を出すことができるのではないかと。</p>	<p>(学校運営協議会 委員)</p>
<p>次回の会議日程</p>	
<p>日時</p>	<p>令和7年6月ごろ</p>
<p>会場</p>	<p>藤井寺高等学校 3F 会議室</p>